

地域連携デジタルコンテンツ活用コンソーシアム 授業案

学 校 名	東京学芸大学附属小金井小学校	実施年月日	平成17年1月27日
指 導 者	片 山 守 道	授業コード	L - 4

学 年	1 年	教 科	国 語
単 元 名	つたえあおう！たのしく、わかりやすく 「みぶりでつたえる」 (教育出版)		
単元の目標	本単元では、言葉以外の伝達手段である「みぶり」に着目し、学習材「みぶりでつたえる」を通してそのはたらきや効果など学習するとともに、実際にみぶりについて調べたり、みぶりを使って遊んでみたりすることを通して、その良さを体感的にとらえ、意識して使えるようにする		
単元の指導計画	第1次 ことばを使わずに気持ちや考えを伝えるには？ 第2次 「みぶりでつたえる」を読もう 第3次 もっとみぶりのことを調べてみよう 第1時 調べる計画を立てよう 第2時 「手話」についてくわしくなろう ……本時 第3時 「世界のみぶり」についてくわしくなろう 第4次 みぶりを使ったゲームをしよう		
本時のねらい	友だちが調べてきたことの発表を聞いたり、インターネットの情報を見たりすることを通して、手話や世界のみぶりについての知識を広げ、興味を深めることができる		

本時の学習活動の展開

導 入	【1】 本時の学習課題を確認する。 学習課題「調べたことを発表しあって、テーマについてくわしくなろう」 テーマ①「手話」 テーマ②「世界のみぶり」
展 開	【2】 手話について調べたことを発表する。 ・動作の意味やポイントを確かめながら行う。 ・情報源を確認し、調べ方の学びにつなげていく。 【3】 手話についてのインターネット情報を見る。 ・必要に応じて説明を加え、動作を確かめながら見る。 ・グループで実際に行ってみて、使えるようにする。
ま と め	【4】 手話について学んだことや感じたことをカードに書く。 ・手話を知らない人への紹介として書かせる。 ・絵も入れて具体的に書くように促す。 【5】 次時に行う世界のみぶりについてのインターネット情報を見る。 ・具体例を提示することで興味を高める。

デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	手話や世界のみぶりなど、みぶり（ジェスチャー）について取り上げたホームページを活用する。 1年生の児童にとって、自分でパソコンを操作し検索したり、見つけたホームページの情報を正しく読み取ったりすることは、難しい。そこで、教師が検索した情報を紹介する形で示し、漢字を読み開いたり、難語句を言い換えたりして理解に結びつけたい。 みぶりは、視覚に訴える伝達手段だけに、絵・写真・動画などの画面による紹介は、興味関心の面からも理解の面からも効果的であると考え。
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------